



Press Release(H28/12/13)

本学学生 36 名が柳ヶ瀬で「まちの景観デザイン提案」を公開発表 ～明日の岐阜を想う学生たちの提案が柳ヶ瀬(ロイヤル劇場)に集まります～

岐阜市の市街地を題材に、まちの景観デザイン提案の公開発表会を、下記のとおり実施します。

発表するのは本学工学部社会基盤工学科の2年生を中心とする36人です。学生たちは、岐阜大学の講義「景観デザイン」(担当教員:出村 嘉史(でむら よしふみ) 准教授)を受講し、「景観とはなにか」「景観の構造」「人の集まる空間のデザイン」「水と緑のデザイン」「色彩計画」「都市の魅力と問題」などについて学習し、その上で、実際のまちを対象にした演習として、市街地再生のためのデザイン提案に取り組みました。

当日は、学生たちが、「これからの岐阜市街地をどのようにすべきか」「そのために必要な場所の空間デザイン」について、ポスター(A1版)と模型表現によって発表します。

ついては、当日の取材についてよろしくお願いします。

記

日時 12月15日(木) 10:00 ~ 12:00

会場 ロイヤル劇場ビル 2階ホール (岐阜市日ノ出町1丁目20)

対象 一般(自由公開)

発表者 岐阜大学工学部社会基盤工学科 学生36名(主として2年生)

- 学生は、基本的に4人1組のグループ演習として取り組んでいます。
- 学生は、10月初めより、発表に向けた取り組みをはじめています。11月17日には、全受講者が実際に市街地の実見調査を行い、実況把握やヒアリング調査を通して、デザインに取りくむ際の視点、課題探しを行いました。
- 発表をまちに対して公開するのは、学生にとって、リアリティと責任を感じつつ提案を構想することができるという教育効果と、それらの提案がまちの方々の発想を刺激する効果があることを期待しています。

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学工学部社会基盤工学科 准教授 出村 嘉史

TEL : 058-293-2446

E-mail : demu@gifu-u.ac.jp